

行動科学

Behavioral Science

シリーズ責任者：医学教育研究 教授 伊野 美幸

1. 学習内容

将来、プロフェッショナルリズムに則る省察的実践家となる上で、自分自身を含めた「人」の心理と行動に関して、深い洞察に基づく判断に必要な基本的知識と姿勢を身に着ける必要があり、自己を含めた個のレベルから社会レベルまで、取り巻く情報からの影響も考慮し、多様な環境の中で医療・福祉・地域において、地域住民、患者、スタッフに向き合える能力の基本を修得する。

2. 到達目標

- 1) 「自分」の心の動きや行動傾向が、他者・社会の影響を受けていることを理解できる。
- 2) 人間の自己理解・他者理解には様々なバイアスが伴うことを理解できる。
- 3) 社会現象を、個人と集団が相互に影響を与え合う過程と捉え、分析・理解することができる。
- 4) 社会、医療、福祉の現場で起こりうる事象について理解する基礎を修得する。
- 5) 取り巻く環境（患者・地域住民・スタッフ）や情報について判断できる。
- 6) 臨床における患者・家族とのコミュニケーションの基礎を身につける。
- 7) 臨床現場で患者家族との関係性に配慮し、向き合うことの基礎を身につける。
- 8) 患者家族の人生に流れる文脈を読み取り、共に問題解決に向かう資質を養う。

3. 学習上の注意点

良医を目指すものにとって自己理解に基づく「省察」や「場」で起こる対人関係に関する素養は生涯必須である。各専門家からその視点で教授戴く機会はない。故に真摯に授業に取り組まなくてはならない。

4. 教科書・参考書

教科書：必須教科書は用いない。

参考書：

- 1) 池田謙一・唐沢 穰・工藤恵理子・村本由紀子（2010）.『New Liberal Arts Selection 社会心理学』（有斐閣）
 - 社会心理学の知見について網羅的に扱っている良書。

- 2) 山田一成・北村英哉・結城雅樹（編著）（2007）. 『よくわかる社会心理学』（ミネルヴァ書房）
 - 社会心理学の知見をトピックごとに端的に整理しており、初学者にわかりやすい。
- 3) 亀田達也・村田光二『複雑さに挑む社会心理学：適応エージェントとしての人間』（有斐閣）
 - 主に集団行動・社会現象を進化心理学的見地から整理するとともに、「統合的社会心理学」を提案する極めて意欲的な一冊。
- 4) 広瀬寛子『悲嘆とグリーフケア』医学書院
 - 看護師による自身の体験を基にして書かれた名著。心理的ケアのヒントがあちこちに見いだされるだろう。
- 5) ビヴァリー・ラファエル（石丸正訳）『災害の襲うときーカタストロフィの精神医学』みすず書房
 - 災害精神医学の古典的名著。災害が人々の心や生活にどのような影響を及ぼすのかが詳細に記述されている。
- 6) ドナルド・A・ショーン著, 柳沢昌一・三輪健二監訳：省察的实践とは何か：プロフェッショナルの行為と思考, 鳳書房, 2007
- 7) 東めぐみ著：看護リフレクション：経験から学び新たな看護を創造する, ライフサポート社, 2009,
- 8) J. ウィーデンバッグ：臨床看護の本質, 外口玉子・池田明子訳, 現代社, 1998
- 9) 川野雅資・石川純子：ロールプレイングを用いたコミュニケーション教育, 看護教育 844-849, 2012

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験		60 (%)	
レポート		20 (%)	
授業態度		20 (%)	

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
医学教育研究	教授	伊野 美幸	水曜日・金曜日 12:30～13:30	教育棟 4階 教員室 4-1	内線 4850

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略